

富山県経済の特徴

1. 地政・社会的背景

(1) 地理

富山県は、本州日本海側の中央部にあり、3大都市圏からはそれぞれ約300kmとほぼ等距離に位置。面積は4,247 km²で、わが国総面積の1.1%を占めています。

三方を山に囲まれ、東は北アルプス^{うしろたてやま}後立山連峰の急峻な山岳地帯、西は石動山^{いするぎ}・倶利伽羅峠^{くりから}、南は重畳たる飛騨地方との県境の山陵、峡谷となっています。

こうした急峻な山々から富山平野を縦断して富山湾に注ぐ川が南北に走っているのが富山県の特徴の一つで、一級河川だけでも5本走っています。これらの川は、水力発電の源泉になるとともに、豊富な工業用水・農業用水の供給やミネラル分の供給による富山湾における魚資源の涵養に結びついています。

農業についてみれば、肥沃な耕地と豊富な水に支えられて米作が盛んなのが特徴です(耕地面積に占める田の割合は96.0%と全国第1位。2010年)。また、富山湾は、「天然の生簀」と称されるほど魚種に富んだ漁場になっています。

富山県の地理的特徴

面積	4,247 km ² (森林 56.4%、耕地 14.2%)
最も高い山岳	立山(大汝山) 標高3,015m
最も長い河川	神通川 全長120km(県外部分を含む)
年間降水量	2,224.0mm(2009年度) <全国順位: 3位>
年間日照時間	1,559.8時間(2009年度) <全国順位: 45位>

(出所) 富山県、富山県「100の指標 統計から見た富山<平成22年度版>」

(2) 人口

富山県の総人口は、1998年をピーク（113万人）に減少に転じており、2010年度には109万人となっています。また、先行きについても減少を続け、2025年頃に100万人（1950年代の水準）を割り込むことになると推計されています。また、65歳以上の人口比率は全国平均を上回るペースで増大するとも推計されています。

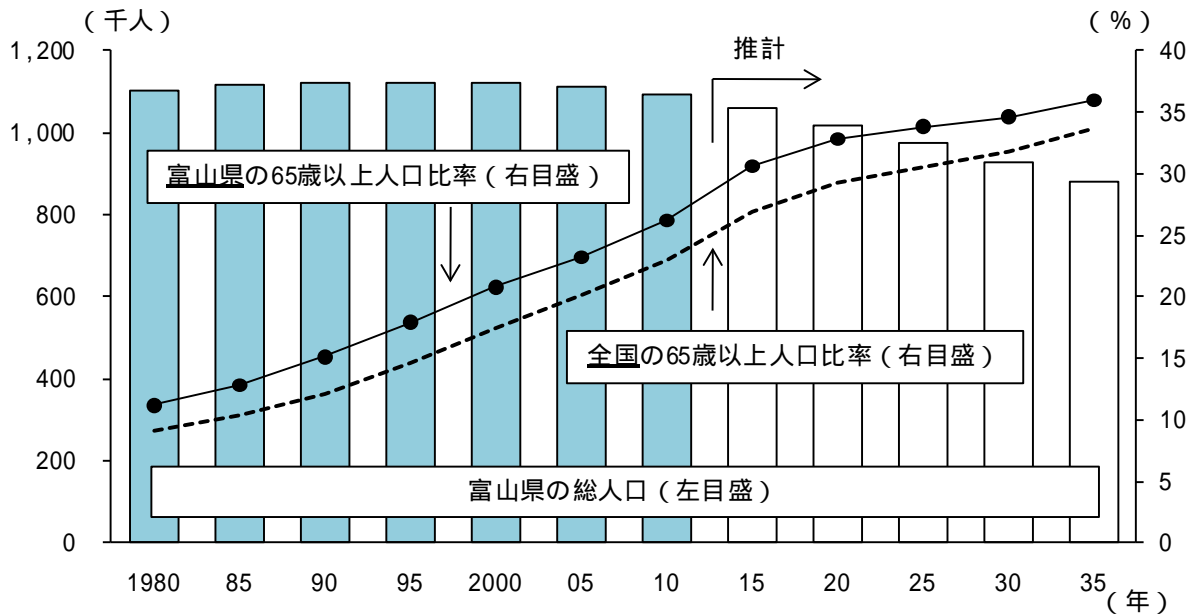
今後、こうした人口減少や高齢化の進展が、県内の生産や個人消費にどのような影響を与えていくか、中期的なスパンでみていく必要があります。

富山県の人口・世帯数など

	総人口 (2010年度)	人口密度 (2010年度)	世帯数 (2010年度)	世帯当たり人員 (2010年度)
富山県	109万人	257人/km ²	38万世帯	2.79人
全国順位	37位	25位	40位	4位
全国	12,806万人	343人/km ²	5,184万世帯	2.42人

(出所) 総務省「統計でみる都道府県のすがた 2012」

富山県の人口と高齢化率の推移



(出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計）」

これらのことから、2011年11月に法政大学「幸福度指数研究会」が公表した「幸福度総合ランキング」では、当県は全国第2位の「幸せな県民」となっています。

(4) 交通

県民1人当たりの行政投資額をみると、当県は全国第4位(285.5千円。2008年度)であり、道路合計舗装率は90.6%(2009年。全国第11位)となっています。

富山県と県外との主な交通手段は、鉄道(JR北陸本線)、高速道路(北陸自動車道、東海北陸自動車道 2008年7月全線開通・能越自動車道 一部が供用中)、航空便(富山空港)が挙げられます。主要都市までの所要時間などは下表のとおりです。

鉄 道	富 山	越 後	湯 沢	東 京	所要時間 3時間11分	
	富 山		京 都	大 阪	所要時間 3時間13分	
	富 山		米 原	名 古 屋	所要時間 3時間5分	
空 路	富山空港	東 京 便	6往復		日	
		札 幌 便	1往復		日	
		北 京、大 連 便	5往復		週	
		ソ ウ ル 便	3往復		週	
		上 海 便	2往復		週	
		台 北 便	2往復		週	

(出所) 富山県

2014年度末に北陸新幹線が金沢まで開通すると、富山～東京間は2時間程度で結ばれることとなります(在来線では3時間11分)。このほか、2012年3月には能越自動車道が灘浦ICまで延伸されたほか(七尾ICまでの延伸は2014年度を予定)、港湾では、2011年11月に伏木富山港が日本海側の「総合的拠点港」に選定され、港湾整備や輸送ルートへの拡充に向けた検討が進められています。航空便では、2012年4月に富山・台北便が新たに開設されました。これらの交通網の整備が、県内経済の発展に寄与することが期待されています。

北陸新幹線整備の一環として、「新黒部」、「富山」、「新高岡」の3駅および駅周辺の整備が進められています。富山市内では、2006年4月にJR富山港線の路面電車化が行われたほか、2009年12月には市内の路面電車の環状線化が行われました。

2 . 県内経済の特徴

1 . で述べた地政・社会的背景、具体的には、安価な電力供給、豊富な水資源、勤勉な県民性、高い教育、交通インフラの整備、などにより、当県では、化学、金属製品、一般機械、電気機械といった産業が発展してきました。

特に、化学の中では、医薬品の占める割合が高く、後述のとおり、売薬から製薬へと発展しながら、製薬機械、印刷、容器、包装資材、卸売、運輸・倉庫といった関連産業を拡充させて来ました。また、当地金融業発展の契機にもなりました。

産業史的にやや詳しくみれば、終戦後、まず、化学、鉄鋼(電炉)、紙パルプなどの産業が発達しました。その後、1964年に富山・高岡地区が新産業都市に指定されてからは、富山新港が開港し臨海工業地帯が整備されたこともあって、金属製品(アルミ建材)などが急速にウェイトを高め、日本海側屈指の工業集積地に成長しました。1975年頃からは、電気機械、一般機械、輸送機械など組立加工産業への移行が進みました。1984年に富山地域がテクノポリス地域の指定を受けて以降は、ハイテク関連の企業の進出が目立っています。

最近の経済の動きをみますと、2011年は、3月の東日本大震災の影響で夏場まで停滞感がみられましたが、震災からの復興需要もあって生産も最終需要も震災前の状況に復して秋口を迎えました。その後、2012年に入って、足もとまでは、海外経済の減速、タイの洪水、円高継続などが重なって、持ち直しのペースが一部で緩やかになっています。ただ、有効求人倍率は全国平均を上回る状況が続いており、今後、海外経済の持ち直しや復興需要の本格化により、当県経済も次第に回復過程に復していくことが期待されます。

(1) 県内総生産

当県の県内総生産は約4.1兆円で、我が国全体の0.8%を占めています。産業別構成比をみますと、第1次産業が1.3%(全国1.2%)、第2次産業が29.2%(全国25.2%)、第3次産業が72.7%(全国73.6%)と、第2次産業のウェイトが全国に比べて高いことが特徴です(北陸3県でも、最もウェイトが高くなっています)。

県内総生産の産業別構成（2009年度＜全国2010年＞）

（単位：％）

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
富山県	1.3	29.2	72.7
北陸	1.2	26.0	76.0
全国	1.2	25.2	73.6

（注）一部分類不能のため、各産業の合計は100%を上回る。

（出所）内閣府「県民経済計算」、「国民経済計算」

（2）製造業の業種構成

製造品出荷額などの主要業種別ウェイトをみると、一般機械、電気機械、化学工業、金属製品、輸送機械の5業種で5割強を占めており、なかでも化学工業（医薬品など：13.8%＜全国平均9.1%＞）、金属製品（アルミ建材など：11.0%＜同4.3%＞）のウェイトが全国平均に比べ高いのが特徴です。

製造品出荷額等の主要業種別ウェイト（2010年）

（単位：億円、％）

	富山県		石川県		福井県		全国	
	額	ウイット	額	ウイット	額	ウイット	額	ウイット
化学工業	4,437	13.8	1,041	4.4	2,771	15.3	262,120	9.1
一般機械	4,117	12.8	5,391	22.9	1,092	6.0	306,186	10.6
電気機械	4,683	14.5	7,834	33.3	4,253	23.5	442,848	15.3
金属製品	3,532	11.0	1,153	4.9	739	4.1	122,920	4.3
輸送機械	1,105	3.4	850	3.6	874	4.8	542,136	18.8
その他とも 合計	32,233	100.0	23,558	100.0	18,070	100.0	2,891,077	100.0

富山県の製造品出荷額等の推移（1990～2010年）

（単位：億円、％、％ポイント）

	1990年		2000年		2010年		90年と10年 との対比	
	額	ウイット	額	ウイット	額	ウイット	額	ウイット
化学工業	4,696	12.5	4,702	13.6	4,437	13.8	259	+1.3
一般機械	4,166	11.1	3,446	10.0	4,117	12.8	49	+1.7
電気機械	3,719	9.9	4,803	13.9	4,683	14.5	964	+4.6
金属製品	8,303	22.1	6,103	17.6	3,532	11.0	4,771	11.1
輸送機械	1,131	3.0	1,228	3.6	1,105	3.4	26	+0.4
その他とも 合計	37,487	100.0	34,588	100.0	32,233	100.0	5,254	

（注）「電気機械」は、「電気機械」、「情報通信機械」、「電子部品・デバイス」の合計値。「一般機械」は、「はん用機械」、「生産用機械」、「業務用機械」の合計値。

（出所）経済産業省「工業統計」（従業者4人以上の事業所ベース）

全国平均に比べてウェイトの高い医薬品と金属製品についてやや詳しくみると以下のとおりです。

(化学工業<医薬品>)

「越中富山の薬売り」が有名ですが、その起源は元禄期(1688～1704年)。売薬は富山藩経済の重要な柱として保護されたことから、次第に藩の中心産業となりました。現在は、全国有数の薬産地として、医薬品の地場中堅企業や大手メーカーの工場が数多く存在し、製造業全体に占めるウェイトも全国比高くなっています(2010年の富山県の製造品出荷額に占める化学工業の割合：13.8%<全国同9.1%>)。なお、当県を含めた北陸地域の製薬業界の現状については、金沢支店が「ほくりくのさくらレポート」第16号(2012年3月23日)で分析・公表していますので、ご覧ください(日本銀行金沢支店HPに掲載)。

(金属製品<アルミ建材>)

当県では、高岡銅器の伝統による技術的な素地、豊富な水資源、低廉な電力などを背景に、アルミ建材産業が発展しました。大手アルミ建材メーカーのほか、関連下請企業も多数集積しており、生産額全国一(2009年のアルミニウム製サッシの出荷額全国シェア41.0%)を誇っています。なお、高岡銅器を含めた北陸地域の伝統産業の現状については、金沢支店が「ほくりくのさくらレポート」第15号(2012年2月23日)で分析・公表していますので、ご覧ください(日本銀行金沢支店HPに掲載)。

(3) 非製造業の業種構成

非製造業の業種構成には大きな特徴はなく、全国平均並みとなっています。

非製造業の業種構成(2009年度<全国2010年>) (単位:億円、%)

	富山県		北陸		全国 (10億円)	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
サービス業	8,247	30.4	23,564	30.4	108,181	33.4
不動産業	6,374	23.5	16,770	21.7	57,005	17.6
卸売・小売業	3,982	14.7	11,471	14.8	64,352	19.8
金融・保険業	2,116	7.8	5,642	7.3	23,630	7.3
運輸・通信業	2,224	8.2	6,576	8.5	33,508	10.3
建設業	2,788	10.3	6,800	8.8	26,656	8.2
電気・ガス・水道業	1,400	5.2	6,579	8.5	10,972	3.4
非製造業合計	27,130	100.0	77,403	100.0	324,304	100.0

(出所)内閣府「県民経済計算」、「国民経済計算」

(観光資源)

富山湾に浮かぶようにそびえる立山連峰の景観は、わが国有数の観光資源となっているほか、環境省が選定した全国の「名水百選」、「平成の名水百選」にそれぞれ県内4か所が選ばれるなど、全国に誇る自然環境も数多く存在しています。

また、当県には、世界遺産「五箇山の合掌造り集落」や国宝「瑞龍寺」のほか、「立山黒部アルペンルート」、「宇奈月温泉」などの観光名所に加え、「越中八尾おわら風の盆」や「となみチューリップフェア」、江戸時代の養蚕業隆盛期を発祥とする「曳山祭」(県内各地で開催)といった、祭りやイベントが多いのも特徴です。

なお、立山黒部アルペンルートへの観光客は、東日本大震災発生による自粛ムードの広がりなどから、2011年は82.7万人と、前年比17%となりました。今後、来客数増加に向けた取り組みの奏功が期待されます。

以上

[参考] 富山県の観光資源など

富山県の主要観光資源

<p>世界遺産 すがぬま あいのくら 五箇山（菅沼・相倉） 合掌造り集落</p>	<p>岐阜県の白川郷とともに1995年に世界遺産に登録されており、大きな三角形の妻面<small>つまめん</small>を見せてそびえ立つ合掌家屋と集落の歴史的景観、そして周囲の自然環境などが良好に保存されていることが、日本を代表する歴史的遺産として高く評価されています。</p>
<p>国宝 瑞龍寺</p>	<p>曹洞宗高岡山瑞龍寺は加賀藩二代藩主前田利長公の菩提を弔うため、三代藩主利常公によって約二十年の歳月をかけて建立されました。富山県初の国宝として山門、仏殿、法堂が指定されており、江戸初期の禅宗寺院建築として高く評価されています。</p>
<p>立山黒部アルペンルート</p>	<p>富山県側・立山（ケーブル駅）～長野県側・扇沢（トロリーバス駅）まで全長 37.4km の道のりをケーブルカー、バス、ロープウェイなど6つの乗り物を乗り継いで横断する全国屈指の北アルプス観光コース（営業期間は4～11月の8か月）</p>
<p>宇奈月温泉</p>	<p>大正期に黒部峡谷鉄道（トロッキ電車・宇奈月駅～黒部峡谷の<small>けやきだいら</small> 榎平駅までの 20.1km）沿道の<small>くろなぎ</small> 黒雑温泉から 91 の温泉を引き湯して開湯したのが始まりといわれています。</p>

富山県のシンボル

<p>県 の 鳥</p>	<p>「ライチョウ」 日本アルプスの代表的な高山帯の鳥。霊峰立山に多く生息し「立山神の使い」として愛されています。</p>
<p>県 の 木</p>	<p>「タテヤマスギ」 立山を中心とする山岳地帯に自生。寒さや雪に強いという特徴をもっています。</p>
<p>県 の 花</p>	<p>「チューリップ」 4月下旬になると、砺波地方をはじめ各地でこの花のじゅうたんが見られます。</p>
<p>県 の 魚</p>	<p>「ブリ」「ツ바이ソ（コズクラ）」「フクラギ」「ガンド」「ブリ」と呼び名を変える出世魚です。 「シロエビ」「あいがめ」と呼ばれる富山湾特有の海底谷に生息し、富山湾が世界唯一の漁場となっています。 「ホタルイカ」 3月～6月にかけて産卵のため富山湾沿岸を群遊します。</p>

（出所）富山県

「名水百選」に選ばれている4か所

<p>黒部川扇状地湧水群 （黒部市・入善町）</p>	<p>穴の谷の霊水 （上市町）</p>	<p>立山玉殿の湧水 （立山町）</p>	<p>瓜裂清水 （砺波市）</p>
--------------------------------	-------------------------	--------------------------	-----------------------

「平成の名水百選」に選ばれている4か所

<p>いたち川の水辺と清水 （富山市）</p>	<p>弓の清水 （高岡市）</p>	<p>行田の沢清水 （滑川市）</p>	<p>不動滝の霊水 （南砺市）</p>
-----------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------